

学力向上チャレンジ校だより

平成 28 年 5 月 25 日
(八次中学校区研究推進地域 第 2 号)

第 1 回研究授業及び研究協議会へのご参加ありがとうございました。今回の協議会の内容や指導助言を以下にまとめておりますので、全教科・全教職員で研究を推進していきましょう。

【第 1 回研究授業（国語）】 日時：平成 28 年 5 月 13 日（金）

単元名：読んで、自分の考えをまとめよう

「大きな力を出す」「動いて、考えて、また動く」

指導者：八次小学校 雲井美紀 指導教諭

★授業で提案した指導改善のポイント

★学習課題…「どちらの段落がふさわしいか」という

比較して考える学習課題。

★協同学習…ペアで交流したことが、自分の考えの形

成につながる学習展開。



【研究協議会】

○ペア学習や机間指導が、自分の考えをしっかりと記述することへとつながった。

○友達の意見を聞いて、自分の考えが変化したり、深まったりした児童がいた。

●板書の情報量が多かったので、ポイントを絞るなど内容を精選できればよかった。

指導助言

＜三次市教育委員会 新谷勝治 指導主事＞

今年度の柱です

- ・思考する場が設定され、児童もじっくり考えていた。
- ・深い教材研究が、学習課題だけでなく「双括型」の効果を問う発問などにつながっていた。
- ・一部の発言力のある子に頼っていない全員参加の授業であった。

【講話】＜福山市立大学 福山市立大学教育学部児童教育学科 森美智代 准教授＞

「児童生徒が『主体的』に取り組む習得の学習活動の手法とその充実について」

①今日の授業について

- ・クリティカルリーディングの効果的な実践事例であった。
- ・求める答えが出てきたときに、ゆさぶり、説明させていた。

②国語科授業づくりの考え方

・学習目標…態度目標・価値目標・技能目標

⇒子どもの姿と教材分析から考える。

・教材単元ではなく、生活単元の授業づくり

③つけたい力とゴールの明確化、学年ごとの系統性

・文学的文章…文学体験 ・説明的文章…論理力

④教材分析

⇒何を教えるか+子供たちの声を拾うため

⑤単元の第一次の出会いの大切さ



★どの教科にもつながる点★

①思考を促す学習課題

②子供の声を拾うための教材分析

③系統性を意識した単元の導入